

量子エネルギー工学専攻における博士課程後期3年の課程の試験内容の変更について

量子エネルギー工学専攻では、令和4年度実施の入試（令和4年10月入学、および令和5年4月入学）より、博士課程後期3年の課程の試験内容を下記の通り変更*します。

*変更は下線部分です。

（後期3年の課程：一般選抜（編入学）、外国人留学生等特別選抜（編入学））

試験科目	試験内容
英語	入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。英語を母語とする志願者は、個別に問い合わせること。
数学 A (必答)	微積分, 線形代数, ベクトル解析
数学 B (必答)	常微分方程式, 偏微分方程式, フーリエ変換・級数, ラプラス変換
専門科目 (選択)	<u>領域Ⅰ：熱力学, 流体力学, 材料力学, 機械力学, 制御工学, 材料物性学, 機械材料学, 電磁気学, 量子力学, 化学基礎</u> <u>領域Ⅱ：放射化学, 放射線工学, 原子炉物理学</u> ・以上の <u>8-9</u> 科目から2科目を選択（ <u>領域Ⅱから選択できるのは1科目まで</u> ）。
面接	修士論文等の内容および入学後の研究希望等

（後期3年の課程：社会人特別選抜（編入学））

試験科目	試験内容
口頭試問等	<p><研究発表および質疑応答(30分程度)> 修士論文等の研究内容を発表してもらい、その後質疑応答を行なう。</p> <p><口頭試問(20分程度)> 数学・専門科目に関する口頭試問を出題する。 ※数学の出題範囲は、編入学・外国人留学生等特別選抜（前出）の筆答試験の数学A・数学Bの範囲と同じ。専門科目は、<u>筆答試験の専門8科目（熱力学, 流体力学, 材料力学, 機械力学, 制御工学, 材料物性学, 電磁気学, 量子力学）の中から2科目を選択し、予め申告すること（専攻事務室より照会する）。申告と異なる科目を選択することはできない。機械工学, 材料工学, 化学工学, 原子力工学, 放射線工学の中から受験者の専門に応じて2問を出題する。</u></p>